※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版　最新　数学Ｂ」（教研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・教科書用のノートを用意してください。
問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数学Ⅱの不等式の表す領域、数学Ⅲの２次曲線、就職対策として就職問題演習、数学Ｂの数列、ベクトル、ベクトルの発展として行列についての基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	円、不等式の表す領域、就職問題演習、数列、ベクトル、行列の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、円、不等式の表す領域、就職問題演習、数列、ベクトル、行列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	円、不等式の表す領域、就職問題演習、数列、ベクトル、行列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	円、不等式の表す領域、就職問題演習、数列、ベクトル、行列の考え方における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート 観察等	小テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	小テスト 定期テスト 観察等	小テスト 定期テスト レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	図形と方程式	円の方程式 不等式の表す領域	○	○	○	○	a:領域の境界線が直線あるいは円となるような場合について関心を持ち、それらを活用しようとしている。 b:領域と不等式を関係づけて考察することができる。 c: 幾つかの不等式で表される領域を求めたり、逆に領域を不等式で表すことができる。 d:不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解している。	小テスト ワークシート レポート 観察等
	就職試験問題演習	就職試験問題演習	○	○	○	○	a:就職試験問題に関心を持ち、活用しようとしている。 b:就職試験問題は、主に小学校や中学校の算数や数学であるので、それらの内容がきちんと身についているのかを、考察することができる。 c:就職試験問題の主な内容である基本的な計算、比、割合、速さの問題ができる。 d:小学校からの学習内容を理解している。	小テスト ワークシート レポート 観察等
2学期	等差数列・等比数列	数列と一般項 等差数列 等比数列	○	○	○	○	a:数列を一般項で表すことのよさを捉え、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。 b:等差数列と等比数列の性質を考察することができる。 c:等差数列や等比数列の一般項や和を公式を使って求めることができる。 d:等差数列や等比数列の一般項や和の公式の導き方を理解している。	小テスト ワークシート レポート 観察等
	いろいろな数列の和	和の記号Σ	○	○	○	○	a:Σの記号に関心をもち和を求めることに活用しようとしている。 b:一般項からΣを用いて和が求められることを考察することができる。 c:第ｎ項までの和をΣを用いて表しその値を求めることができる。 d:数列の和をΣを利用して求めることについて理解している。	小テスト ワークシート レポート 観察等

※令和３年度以前入学生用

2学期	ベクトルとその演算	ベクトル ベクトルの演算 ベクトルの西武 ベクトルの内積	○	○	○	○	a:ベクトルの和・差・実数倍・成分表示や内積について関心を持ち、図形の計量について活用しようとしている。 b:ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに事象の考察に活用することができる。 c:ベクトルの基本的な作図や計算ができる。 d: ベクトルの和・差・実数倍・成分表示や内積について理解している。	小テスト ワークシート レポート 観察等
3学期	行列とその応用	行列の和と実数倍 行列の積 逆行列 行列の方程式	○	○	○	○	a:行列の和・実数倍・積・逆行列に関心を持ち、それらを行列の方程式に活用しようとしている。 b:行列の計算や逆行列の有無を考察磨ることができる。 c:行列の計算ができ、逆行列を用いて行列の方程式を解くことができる。 d:行列の和・実数倍・積・逆行列の計算方法を理解している。	小テスト ワークシート レポート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。